

2024(令和6)年度
大阪府内地域連携プラットフォーム
事業報告書
(2024年4月～9月)

2024(令和6)年9月

課題 1 大学と高校の有機的な接続・連携の強化

月	会議	行事等
4		HP オープンキャンパス情報の常時掲載
5		大阪の大学「学び」WEB フェアの常時掲載
6	第1回推進委（10日）	共通大学案内ブックレットの作成・配布（7万2千部） 大阪府内の高等学校と大学の連携強化に向けたニーズ調査の実施（8月23日まで）
7	第1回部会（19日）	
8		高校生応援プロジェクトの開催（HPにて公開）
9		
10		高大連携フォーラム（8日）

取組 1 高大連携フォーラム https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/koudai_forum

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高大双方が高大接続の大きな環境変化に関する情報を共有している。 ・ 高大接続の諸問題を高校と大学が対等な立場で継続的に検討している。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用割合：会員大学数の60%以上の参加大学数／各年 ・ 参加者比率：大学と高校からの参加者数が同程度／計画期間内
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数：1回以上／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回開催（10月8日開催予定）

- ・ 大阪府内の高校、大学における喫緊の課題をテーマに取り上げ、情報共有や効果的な連携方法について模索する場として「高大連携フォーラム」を開催している。
- ・ 今年度は「高大連携によるキャリア教育・再考～高大連携で育む“未来を生き抜く力”とは～」をテーマに、オンライン視聴も可能なハイブリッド形式で開催する。

＜開催概要（予定）＞

テーマ：高大連携によるキャリア教育・再考～高大連携で育む“未来を生き抜く力”とは～ 開催日時：2024年10月8日（火）15:30～17:00 講演：Society5.0時代のキャリア形成について考える 講演者：若江 眞紀氏（株式会社キャリアリンク 代表取締役） 司会進行：峯 明秀氏（大学コンソーシアム大阪 高大連携部会推進委員会 推進委員・大阪教育大学 副学長）

取組 2 会員大学情報の発信

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生のニーズが高い情報を厳選して会員大学から収集している。 ・ 高校生に届きやすい方法で会員大学情報を発信している。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用割合：会員大学数の80%以上の大学数／各年 ・ ホームページの該当ページの閲覧数：倍増／計画期間内
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数：1～2回／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4回実施（共通大学案内ブックレット、オープンキャンパス情報、学びWEBフェア、高校生応援プロジェクト） ・ 会員大学によるHPの活用割合：100%（42/42校） ・ 高校生カテゴリページ閲覧数：2,210回（2024年4月1日～8月31日までの集計）

【オープンキャンパス情報の発信】 https://www.consortium-osaka.gr.jp/osaka_univ
 会員大学のオープンキャンパス情報を大学コンソーシアム大阪のホームページに一元化し、高校生が年間を通じて各大学の情報にアクセスしやすい工夫を行った。

【共通大学案内ブックレットの作成・配布】

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/images/web/osaka/webfair/booklet2024.pdf?1720167514>

会員大学の魅力を広く発信するために「共通大学案内ブックレット」を作成し、学生による自大学の魅力の紹介や学生座談会記を掲載した。

ブックレットは、大阪府教育庁等の協力や会員大学の共同による高校訪問時の配布を通じて、これから本格的に進学先を検討する高校2年生を中心に約7万2千部配布した。

【大阪の大学「学び」WEB フェア】 https://www.consortium-osaka.gr.jp/osaka_univ/webfair

会員大学の魅力発信の取組の一環として、大学コンソーシアム大阪のホームページで、オンラインによる会員大学合同説明会を実施した。

【高校生応援プロジェクト】

https://www.consortium-osaka.gr.jp/osaka_univ/project

大学コンソーシアム大阪のホームページに、高校生を対象とした模擬授業等をはじめとする会員大学の「学び」に関する動画コンテンツを集約したページを設置しており、今年度は31校からの動画提供を受け、現在公開している。

【大阪府内の高等学校における大学連携状況と進路指導に関するニーズ調査の実施】

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/platform/plan>

高校における大学との連携状況や進路指導に関するニーズの把握を目的とした標記調査を大阪府内の高等学校を対象に実施した。今年度は、実施にあたり、回答者の利便性を考慮し、WEBフォームを新たに構築した。本調査の結果を大学コンソーシアム大阪のホームページで公開するとともに、結果を踏まえ、今後の高大のさらなる連携強化に向けて検討を進める予定である。

※上記の取組は、私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）の加点に向けた取組とも連動している。



高大連携フォーラムチラシ



共通大学案内ブックレット

課題2 単位互換プログラムのさらなる充実

月	会議	行事等
4		前期開講（センター3科目）
5	第1回推進委・単互実務委合同会議（20日）	
6		
7	第1回部会（8日）	広域型単位互換制度に関する包括協定書 締結（1日）
8		追加募集科目 出願開始（22日～） 集中科目開講（センター4科目）
9		後期開講（センター9科目）

取組1 単位互換事業 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/tg>

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・センター科目と各大学が担当するオンキャンパス科目の役割やねらいが明確になっている。 ・各大学の強み、ネットワークを活かして「大阪の特徴・魅力」を総合的に学べる機会を提供している。
数値目標	・学生送り出し校数：包括協定校の60%以上の大学数/各年
活動指標	・実施回数：1回/各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1回実施 ・学生送り出し校数：包括協定校の60.0%（最大24/40校）

今年度の全体の出願数は、7月より開始した4つの大学コンソーシアムが参画するネットワーク型広域単位互換制度も含め順調に推移した。なお、詳細は以下のとおり。

【センター科目】

- ・科目数は、新規提供科目を含め、計17科目（前年度実績：15科目）と増加した。
- ・うち1科目（関空・泉州・南大阪地域学）は、南大阪地域大学コンソーシアムからの継承科目である。
- ・出願者数は前年より増加し762人、前年比110.8%となった。※実出願者数は624人

【オンキャンパス科目】

- ・科目数は計441科目（前年度実績：416科目）と増加した。
- ・出願者数は大幅に増加し389人、前年比133.7%となった。

《出願実績》

- ・出願者数は在籍大学承認不可及び辞退者を除いた数を示す。
- ・2024年度は協定校として大阪公立大学、大阪府立大学、大阪市立大学はそれぞれ1校として計上。

		2023	2024	当年-前年	前年比
センター	科目数	15 ※うち、広域1	17	+2	113.3%
	出願校数	24	24	±0	100.0%
	出願者数	688	762 ※うち、広域47	+74	110.8%
オン キャンパス	科目数	416	441	+25	106.0%
	出願校数	24	21	-3	87.5%
	出願者数	291	389	+98	133.7%

【広域単位互換ネットワークによる広域型単位互換制度の実施】

- ・単位互換制度のさらなる充実を目指し、広域単位互換制度の趣旨に賛同する大学コンソーシアムによる単位互換ネットワークを新たに設置した。

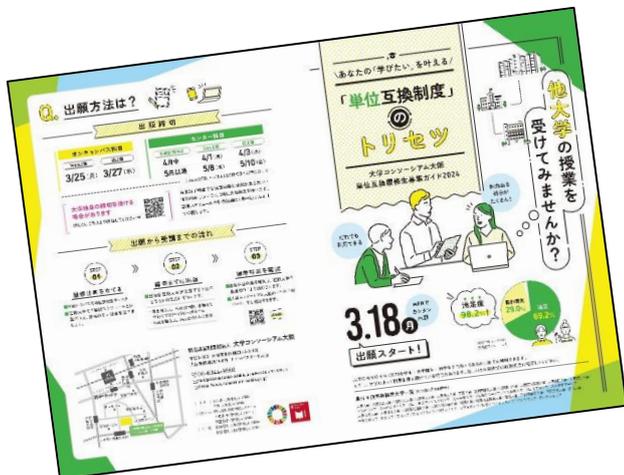
ネットワーク参加団体名	地域
キャンパス・コンソーシアム函館	北海道
(一社)教育ネットワーク中国	広島県
(特活)大学コンソーシアム大阪	大阪府
(公社)ふじのくに地域・大学コンソーシアム大阪	静岡県

※2024（令和6）年7月1日現在

- ・大学コンソーシアム大阪からは3科目提供し、47名の受入を行った。また、他の大学コンソーシアムの提供科目2科目に対し、計3名の送り出しを行った。
- ・次年度から大学コンソーシアム京都が新たに参加意向を示しており、今後より多くのコンソーシアムの参画により更なる制度の拡充を目指したい。



センター科目「関空・泉州・南大阪地域学」集合写真



単位互換履修生募集ガイド



広域単位互換制度 HP バナー

課題3 キャリア教育プログラムの充実と支援体制の強化

月	会議	行事等
5	第1回インターンシップ推進委・ キャリア支援推進委合同会議(15日)	就業体験型 学生向け説明会(8日) 就業体験型 学生出願期間(8日~24日)
6		就業体験型 面接・選考(2日) 就業体験型 事前研修(30日)
8	第1回部会(5日) 第2回インターンシップ推進委・ キャリア支援推進委合同会議(26日)	就業体験型 実習期間 (~9月中旬まで)
9		第1回大学等教職員向けセミナー(11日) 就業体験型 事後研修(29日)

取組1 就業体験型プログラム

目標	<ul style="list-style-type: none"> 参加した学生が社会人としての心構えや「働くこと」についての理解を深め、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。 留学生、障がい学生、社会人学生など多様な学生と社会をつなぐ機会となっている。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> 学生送り出し大学数：会員大学数の60%以上の参加大学数/各年 参加学生数：150人以上/各年 受入企業数：100社以上/各年
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数：1回/各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> 1回実施

＜就業体験型 実績＞

	出願者数	マッチング数	実習者数		エントリー数	マッチング数	送出处
大学数	17校	16校	16校	受入 企業数	103社	65社	62社
人数	167人	148人	142人				

- ・出願者は前年度と同数(167人)であったが、実習者は前年度139人に対し、今年度は142人と微増した。
- ・受入先は103社(推薦枠を含む)がエントリーし、うち62社に送り出しを行った。エントリー数は前年度よりやや減じたが、送出处率は向上した。(前年度：エントリー117社/送出处69社)。
- ・事前研修は前年度同様オンラインにて実施、事後研修については「大阪公立大学 I-site なんば」を会場に對面で行う予定である。

取組2 プロジェクト型プログラム

目標	<ul style="list-style-type: none"> 参加した学生が現場での経験により、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。 学生による提案内容が連携先企業をはじめ、社会的に評価・関心を高めている。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> 学生送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数/各年 参加学生数：30人以上/各年
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> プログラム本数：2件以上/各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> 事業見直しのため、実施予定なし

- ・従来実施してきたプロジェクト型プログラムに関しては、国の三省合意改正を受けて、プログラムの在り方の見直しを進めてきた。近年、同プログラムの学生の参加者数減の傾向が続いていること、また実施体制が整わないことを理由に、今年度から次項の「就活クエスト」を軸に事業展開する方向に改めることとしている。

取組3 就活クエスト in OSAKA (旧 オンラインプログラム)

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参集型では難しかった遠隔地や特殊な現場など、これまで知る機会がなかった仕事について、学生が具体的なイメージを持つことができています。 ・ 学生が、プログラムを通じて企業活動の意義とそこで働く人の役割の一端を理解している。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年 ・ 参加学生数：60人以上／各年
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数：3回以上／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下半期に実施予定

- ・ 早期から実社会に触れることによる学修の深化や主体的な職業選択、また高い職業意識の涵養を目的として、低年次学生を主対象に、下半期に実施予定として詳細を検討中である。

取組4 キャリア支援事業

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時宜に応じたキャリア支援の課題に会員大学が連携して対応している。(就職に困難性のある学生に対する支援、学生の多様性に対する支援など) ・ 就職支援のための関連団体との連携が拡大し、充実した支援を実施している。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数：1回以上／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大学等教職員向けセミナー」 3回開催（第1回：9月11日、第2回、第3回の開催日等は調整中）

【大学等教職員向けセミナー】

- ・ 大阪府との共催にて、発達障がい傾向を有するなど就職困難性がある学生の支援方法について理解を深めることを目的に全3回開催予定としている。

《大学等教職員向けセミナー（予定）》

回・開催日	テーマ・会場・講師等・参加者数
第1回 (9月11日)	テー マ：障がい学生や要支援学生の就職について考える 会 場：キャンパスポート大阪 講 師：村田 淳氏（京都大学 准教授） 塚田 吉登氏（社会福祉法人すいせい 理事） 島津 悠貴氏（社会福祉法人すいせい マネージャー） 窪 貴志氏（株式会社エンカレッジ 代表取締役） 小川 健氏（株式会社エンカレッジ 主任） 申込者数：36人（うち会員20人 大学26人）
第2回	詳細検討中
第3回	詳細検討中

課題4 国際交流の活性化

月	会議	行事
5	第1回推進委（17日）	
6		学生英語プラットフォームコンテスト発表者募集開始（14日～）
7	第1回部会（11日）	
8		外国人留学生向け特設ページの情報提供依頼（5日）
9		第1回グローバル人材育成講座（28日） 学生英語プラットフォームコンテスト運営メンバー募集開始（下旬）
10		大阪まちあるきツアー企画学生募集開始（初旬）

取組1 他国・他地域との交流事業

目標	・明確な目的をもって、国際交流事業を実施している。 ・さまざまな交流プログラムを検討・実施している。
数値目標	・交流事業数：延べ5事業／計画期間
活動指標	・交流事業開催回数：1回以上／各年（再開以降）
実績	・HP上に外国人留学生向け特設ページを設置（年度内予定）

- ・コロナ禍以降、台湾高等教育国際合作基金会との交流に進展が見られないことから、今年度より会員大学共同による外国人留学生対象事業を新たに展開することとし、大学コンソーシアム大阪ホームページに外国人留学生向け特設ページを設置予定としている。

【外国人留学生向け特設ページ概要】

- 対象：大学進学を目指す外国人留学生
- 掲載大学：11大学（予定）
- 対応言語：日本語および英語
- 内容：

会員大学紹介	各大学から提供情報を掲載
大阪での留学生活の紹介	正規留学生のインタビュー記事を掲載
学べる分野	会員大学学術マップ（簡易版）
留学生支援に関する情報	日本（大阪）での生活や学び等に役立つWEBページ等の紹介

取組2 グローバル人材育成講座 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/student/global>

目標	・日本の現状と課題を認識し、グローバルな社会課題の解決策を考えるきっかけとなっている。 ・多文化共生・異文化理解、ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）という価値観を育む機会となっている。
数値目標	・講座受講者数：延べ300人以上／計画期間内
活動指標	・講座開催回数：2回以上／各年 ・国際交流イベント開催回数：1回以上／各年
実績	・講座：2回開催（第1回：9月28日、第2回：未定） ・国際交流イベント：1回開催（2025年3月予定、大阪のまちあるきツアー）

【講座】

≪第1回（予定）≫

テーマ：サステナビリティと共に歩む未来のキャリア～「人生の軸を探す」
日時：2024年9月28日（土）10:00～17:30
講師：亀田 樹氏（株式会社LODU 副社長 C00）
申込者数：現在募集中

取組3 学生英語プレゼンテーションコンテスト

https://www.consortium-osaka.gr.jp/student/en_presentation

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が発表に至るまでにグループワークを重ね、プレゼンテーションスキルを学ぶ機会となっている。 ・ 国際共通語としての「英語」を用いて、国際的な共通課題の解決策を斬新な発想で考え、意見交換する機会となっている。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員大学数の 50%以上の参加大学数(発表大学、運営メンバーおよび当日の来場者)／各年 ・ 参加者数：英語圏以外の留学生の参加増／計画期間内
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数：1回／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回開催(12月1日開催予定)

〈開催概要〉

<p>開催日時：2024年12月1日(日) 10:00～17:00</p> <p>会場：関西大学 梅田キャンパス</p> <p>発表テーマ：「大阪の大学生が描く、いのち輝く未来社会の実現に向けたアクションプラン～万博のレガシーを繋ぐ、持続可能な都市づくりへの挑戦～」</p> <p>SDGs 達成を念頭に、万博のレガシーを継承した未来都市「大阪」のあるべき姿を思い描き、それに向けて、実行、また持続させるための具体的なプランを提案してください。</p>
--

- ・ 高い国際意識やコミュニケーションスキルをもつ若者の育成に寄与することを目的に毎年開催している。
- ・ 「万博」に関連するテーマを設定していることから、(公社)2025年日本国際博覧会協会より審査員派遣の協力を得る予定である。
- ・ 今年度は、国際交流促進の観点に鑑みて、出場チームには必ず日本人学生を1名含める条件を設けた。また、英語を第一言語とする話者の参加は不可とするなど、出場要件を明確化した。



発表者募集チラシ

課題5 地域連携の促進による大阪・関西の活性化

月	会議	行事等
5		地域連携学生フォーラム 学生運営メンバー活動開始 (29日)
6	第1回推進委員会 (18日)	地域連携学生フォーラム 発表者募集開始 (21日)
7		
8	第1回部会 (2日)	地域連携学生フォーラム 発表者募集締切 (23日)
9		地域連携学生フォーラム 観覧者募集開始 (下旬)
10		地域連携学生フォーラム (20日)

取組1 地域連携 学生フォーラム in Osaka https://www.consortium-osaka.gr.jp/student/gakusei_forum

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に起こっている。 ・学生の提案事項や連携のノウハウが蓄積され、それらを会員大学や自治体が共有している。 ・大阪・関西万博に向けて、学生がつながり、関わる場となっている。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・発表大学数：会員大学数の50%以上の参加大学数／計画期間内 ・参加する行政・事業所数：15団体以上／計画期間内
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：1回／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1回開催 (10月20日開催予定)

【地域連携 学生フォーラム in Osaka】

- ・会員大学の学生自らが取り組む地域活動（ゼミ活動やボランティア等）について発表し、交流を深めることを目的としたフォーラムを毎年開催している。
- ・今年度は5大学5事業の発表を予定しており、ポスター発表形式で行う予定としている。
- ・5月下旬より、有志による6大学9名による学生運営メンバーが本フォーラムの企画・準備を進めている。

<開催概要>

開催日時：2024年10月20日（日）10：00～17：00（予定）
 会場：グランフロント大阪 北館タワーC8階
 ナレッジキャピタルカンファレンスルーム タワーC Room C01+C02
 テーマ：集え!! 大阪 LOVER ～出会い、地域で支え合い～

<発表事業数>

大学数	事業数
5	5

<学生運営メンバー>

大学数	人数
6	9

取組 2 地域連携交流サロン https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/info_meeting

目標	・大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に生まれている。
数値目標	・参加大学数：会員大学数の50%以上の参加大学数／計画期間内 ・参加する行政・事業所数：10団体以上／計画期間内
活動指標	・開催回数：1回以上／各年
実績	・1回開催（11月29日開催予定）

- ・本サロンは、地域連携をテーマに情報収集やネットワーク構築の場として毎年開催しており、今回は2023年11月に誕生した茨木市文化・子育て複合施設「おにくる」の事例を取り上げ、望ましい連携協働のあり方について考える機会とする。

取組 3 学生ボランティア事業

※本資料13ページ目「課題7 大阪の様々な課題に対応した取組の拡充」の取組1に記載。

課題6 研修による大学教職員の資質向上とネットワーク強化

月	会議	行事
4		インストラクショナルデザイン (ID) 研修 オンデマンド 通年公開
5	第1回推進委 (15日)	
6		初任者 SD 研修 (第1回) (20日)
7	第1回部会 (24日)	
8	第2回推進委 (26日)	
10		初任者 SD 研修 (第2回) (25日)
11		サロン (第1回) (27日)
12		初任者 SD 研修 (第3回) (日程調整中)
1		サロン (第2回) (日程調整中)
2		サロン (第3回) (日程調整中) 管理職者 SD 研修 (日程調整中)

取組1 各種研修

目標	・ 会員大学のニーズに応じた研修を実施している。 ・ 研修講師を担える人材の育成が図られている。
数値目標	・ 教職員送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年
活動指標	・ 実施回数：2回以上／各年
実績	・ 初任者 SD 研修：1回実施 (10～12月に第2回、第3回を実施予定) ・ インストラクショナルデザイン (ID) 研修：オンデマンドにて提供中 ・ 管理職者 SD 研修：1回 (2025年2月) 実施予定

【初任者 SD 研修】 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd>

- ・ 大学職員として幅広い業務遂行能力を高めるために必要なスキルを考える機会、および異なる大学の職員との共同研修を行うことで情報交換や会員間のネットワークを形成する機会を提供することを目的として、対面にて全3回実施する (第1回は実施済み)。

《実績および実施予定》

回・開催日	テーマ	講師 (いずれも推進委員)	受講者数
第1回 (6月20日)	大学職員の仕事の進め方	宮原 秀明氏 (大阪学院大学 大学事務長) 葛西 崇文氏 (大阪女学院大学 管理課 課長)	8大学 18人 (うち会員外 1大学1人)
第2回 (10月25日)	事例を通して仕事の基本を学ぼう!	佐藤 浩輔氏 (大阪体育大学 庶務部 学長室担当) 加藤 敦也氏 (大阪産業大学 人事部 人事課) 茅野 早希氏 (追手門学院大学 総務部 人事課)	
第3回 (12月予定)	総括 (詳細検討中)	佐藤 浩輔氏 (大阪体育大学 庶務部 学長室担当) 滝口 雄貴氏 (大阪医科薬科大学 人事部 人事管理課 主任)	

【インストラクショナルデザイン (ID) 研修】

- ・ 大学職員を対象に、教え方のセオリーを学び、そのノウハウを自大学の SD 研修の企画や業務で活かせるようになることを目的に、宮原 秀明氏 (大阪学院大学 大学事務長、大学コンソーシアム大阪研修部会 推進委員長) が講師を務めるオンデマンド講座を2022年11月2日より大学コンソーシアム大阪のホームページにて提供している。
- ・ 会員大学への広報強化のために、2024年2月に周知用チラシをリニューアルし、情報発信している。

※ID 研修ページ (下記ページ) へのアクセス数 556件 ※2024年9月9日現在

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/id> (研修概要)

<https://donow2016.com/id/2022/> (研修詳細)

【管理職者 SD 研修】

- ・本研修は、2022 年度及び 2023 年度の「大学コンソーシアム大阪 中期計画推進に係る提案型研究事業」での選定事業として、大阪女学院大学、大阪学院大学、大阪電気通信大学 3 大学連携により推進されてきた。今年度より研修事業の一つとして位置付け、2025 年 2 月の実施に向けて企画・検討を進めている。

取組 2 サロン・ド・大学コンソーシアム大阪 (SD 勉強会)

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/salon>

目標	・参加者が主体的に情報交換や交流を行っている。
数値目標	・会員大学の参加率：会員大学数の 60%以上の参加大学数／各年
活動指標	・開催回数：3 回以上／各年
実績	・3 回実施予定（第 1 回：11 月 27 日、第 2 回：2025 年 1 月、第 3 回：2025 年 2 月）

- ・昨今の大学における様々な課題について、参加者相互の情報交換や意見交換を行う勉強会として実施している。今年度は、「組織のメンタルヘルス」、「生成 AI」、「LGBTQ」の 3 テーマを取り上げ、下半期に開催予定としている。

《開催スケジュール（予定）》

回・開催日	テーマ・講師（予定）
第 1 回 (11 月 27 日)	組織のメンタルヘルス（仮題） 島井 哲志氏（関西福祉科学大学 客員教授／大阪大学 全学教育推進機構 招聘教員／博士（医学）・指導健康心理士・上級疫学専門家）
第 2 回 (2025 年 1 月予定)	生成 AI ハンズオンセミナー（仮題） 講師：調整中
第 3 回 (2025 年 2 月予定)	SOGI（性的指向・性別自認）の多様性をめぐる国内外の動向と学生支援（仮題） 東 優子氏（大阪公立大学 現代システム科学域教育福祉学類／ 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授

課題7 大阪の様々な課題に対応した取り組みの拡充

月	会議	行事
4	第1回分科会1 (26日)	
5	第2回分科会1 (24日)	提案型研究事業選定 (31日)
6	第1回協議会 (4日) 第3回分科会1 (21日)	
7	第4回分科会1 (31日)	公開講座 第1回 (13日) ~ 順次開催
8	第5回分科会1 (23日)	第1回FD研修 (21日) ~ 順次開催
9	第6回分科会1 (13日)	MOS資格取得講座開講 (9月24日~11月30日)
10	第7回分科会1 (18日)	タイプ3申請 (31日までに)

取組1 学生ボランティアの拡充 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/student/volunteer>

目標	・事業の企画運営に学生が主体的に関わる機会が創出されている。
数値目標	・学生の参加数：各部会事業への企画・運営に関わった学生数延べ200人/計画期間内
活動指標	・既存事業やその他事業へ学生ボランティア参画：2事業以上/各年
実績	・4事業（予定を含む） （地域連携学生フォーラム、学生英語プレゼンコンテスト、国際交流イベント（大阪のまちあるきツアー）、ACT1事業（新歓イベント））

- ・地域連携や国際交流のイベント運営に係る有志学生の参画のほか、2021年度より学生交流イベントを主体的に企画・運営する「学生ボランティアチームACT」が発足したが、2023年度からACTの活動支援を地域連携部会事業の一つとして位置付け、推進委員による助言のもと、様々な大学の学生が集いながら自由な発想によるイベントを行っている。
- ・ACTの活動として、5月の新歓イベントの開催のほか、9月の全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム（於：京都）の分科会にて「学生ボランティア活動」をテーマとしたワールドカフェ形式の意見交換を行い、その司会・運営に携わった。

取組2 連携調査・研究の実施

目標	・大学間、また産官学の連携による調査や研究が恒常的に実施されている。
数値目標	・連携調査・研究実施数 延べ15件/計画期間内
活動指標	・連携調査・研究テーマ数 2テーマ以上/各年
実績	・調査：2テーマ 新入生対象薬物意識調査、大阪府内の高等学校と大学の連携強化に向けたニーズ調査 ・研究：1テーマ 中期計画推進に係る提案型研究事業（1件採択）

- ・新入生対象薬物意識調査は、今回4回目の実施となり、調査結果を薬物乱用防止の啓発に繋げるために、調査内容に性別を回答する項目を設けるなど、より詳細な実態の把握に努めた。結果、参加大学数、回答数ともに改善が図れていない状況が続いている。
大阪府内の大学が一体となった薬物乱用防止の啓発活動を展開するためにも、今後各大学において導入しやすい方策を検討するなどしていきたい。
- ・今年度の「大学コンソーシアム大阪 中期計画推進に係る提案型研究事業」の応募数は1件、また審査の結果同事業が採択された。

<採択事業> ※★は研究代表大学

- ・大学職員の中堅層向け研修プログラム開発に向けた研究
（大阪体育大学★、大阪公立大学、大阪国際大学）

取組3 地域課題に対応した取り組みの推進

目標	・産官学連携による課題解決体制が整備されている。
数値目標	・実施事業数 延べ5事業／計画期間内
活動指標	・実施事業数 1事業以上／各年
実績	・5事業実施 (活動報告会、大阪府内地域連携プラットフォーム主催FD・SD研修、公開講座、MOS資格取得講座、リカレントプログラムポータルサイトによる情報発信)

【大阪府内地域連携プラットフォームの取組】 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/platform>

・今年度は、以下の取組を推進した。詳細は以下のとおり。

<FD・SD研修>

・今年度の大学教職員対象研修はさらなる拡充を図ることを決定し、以下のとおり計3回開催した。

回	開催日程	テーマ	講師
1	8月21日(水) 13:30~16:30	授業デザインの基本 (FD)	竹中 喜一氏 (近畿大学 IR・教育支援センター 准教授)
2	8月29日(木) 13:30~15:30	働きやすさと学びやすさを作るために必要なことについて考える ～大学で働く人と学ぶ人のメンタルヘルスケア 令和編～ (FD・SD)	川端 康雄氏 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室 公認心理師・臨床心理士)
3	9月17日(火) 13:30~15:30	ジェンダーの多様性を尊重したキャンパスを目指して (FD・SD)	上野 淳子氏 (四天王寺大学 社会学部 准教授)

<公開講座>

・大阪・関西での課題や関心の高いテーマに基づき、大学連携による公開講座を9月までに全10回にわたり開催した。

回	開催日程	テーマ	講師
1	7月13日(土) 13:00~14:20	精神障害のある人の地域移行	辻井 誠人氏 (桃山学院大学 副学長兼社会学部教授)
2	7月26日(金) 18:00~19:20	大阪の芸能と仏教	釈 徹宗氏 (相愛大学 学長)
3	8月9日(金) 18:00~19:20	未来へつなげる域学連携	久保 由加里氏 (大阪国際大学 国際教養学部 国際観光学科 教授・学科長)
4	8月19日(月) 13:30~14:50	自分でつくる自分の健康 ～人生100年を彩るために～	中村 晶子氏 (大阪青山大学 看護学部 看護学科 准教授)
5	8月24日(土) 13:00~14:20	妊娠・出産から高校・大学等までの 子育て教育費支援の自治体調査	渡部 昭男氏 (大阪信愛学院大学 教育学部 教授)
6	8月30日(金) 15:30~16:50	大阪府における障がい者虐待の実態について ～養護者による虐待を中心に～	潮谷 光人氏 (東大阪大学 こども学部 こども学科 教授・学科長)
7	9月9日(月) 18:00~19:20	災害関連死を防ぐ備え方	西上 あゆみ氏 (藍野大学大学院 看護学研究科 研究科長・ 藍野大学 医療保健学部 看護学科 教授)
8	9月14日(土) 13:00~14:20	見覚えのある大阪の風景 —「浪花百景」に描かれる遠景描写を中心に	永田 雄次郎氏 (大阪学院大学 国際学部 教授)
9	9月21日(土) 13:00~14:20	韓国ドラマから読み解く韓国文化 ※2024年度 大阪女学院大学・短期大学 ウエルミナ公開講座と共催	金 姫淑氏 (大阪女学院大学・短期大学 専任講師)
10	9月27日(金) 18:00~19:20	持続可能な地域づくりと観光の在り方を考える	大和 里美氏 (大阪経済大学 国際共創学部 教授)

<大阪府域のリカレント教育推進に係る各種取組>

■リカレントプログラムの実施

- ・近年の社会環境の大きな変化やDX化の急速な移行に対応するため、現役社会人を対象にITに関する知識やスキルの向上を目指すオンデマンド講座を開催している。
- ・今年度はマイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS) 資格の取得を目指す3講座を開講した。

開催期間：2024年9月24日（火）～11月30日（土）までの約2か月間
講座名：MOS 資格取得講座（オンデマンドによる3講座：Word/Excel/PowerPoint）
対象：キャリアアップ等のために、マイクロソフトスペシャリスト資格取得を目指す ①～③のいずれかに該当する方。※学生は除く。 ①現在職に就いている方 （給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事に就いている方） ②給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した方 ③主婦・主夫の方

■会員大学リカレントプログラム ポータルサイトによる情報発信

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/platform/program>

- ・2023年8月に大阪商工会議所との連携により、会員大学が実施するリカレントプログラムを一元化したポータルサイトを大学コンソーシアム大阪のホームページに開設した。今後広く活用可能なサイトとして情報の拡充等に努めたい。

<大阪府内地域連携プラットフォーム 活動報告会>

- ・大学コンソーシアム大阪及び大阪府・市・大阪商工会議所との連携による取組を広く発信しながら、参加者による意見交換を目的とした活動報告会を2024年5月25日に開催した。
- ・今回は、「大阪・関西の再生と成長に向けたプラットフォームの役割とは」をテーマに、大学コンソーシアム大阪 企画・運営委員会 副委員長の安孫子 勇一氏（近畿大学 経済学部 教授）による講演のほか、それを踏まえた参加者による意見交換を行った。

<分科会1の設置と私立大学等改革総合支援事業（タイプ3・プラットフォーム型）の申請>

- ・2024年5月に開催した第18回通常総会において、今年度も私立大学等改革総合支援事業（タイプ3・プラットフォーム型）に申請することが全会一致で承認された。これを受けて大阪府内地域連携プラットフォーム協議会のもとに本事業の申請に関する検討等を行う「分科会1」を設置し、選定・点数加算に向けた取組を進めている。

取組4 大阪・関西万博との連携

目標	・万博への積極的な参画を通じて大阪・関西の活性化に寄与している。
数値目標	・実施事業数 延べ10事業／計画期間内
活動指標	・実施事業数 2事業以上／各年
実績	3事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・学生英語プレゼンテーションコンテスト（万博をテーマに）：2024年12月開催予定 ・地域連携学生フォーラム in 2024 Osaka（学生交流企画内にて）：2024年10月開催予定 ・グローバル人材育成講座（第1回：9月28日開催予定）

- ・大阪・関西万博開催が来年に迫り、2023年8月に大学コンソーシアム大阪と公益社団法人2025年日本国際博覧会協会間の大阪・関西万博に向けた取組等の連携推進に関する協定に基づき、若者（大学生）や大学の万博に対する機運醸成に向けた各種取組を実施している。